



Miura city council news

みうら市議会だより

2022.8.1 第150号



- 副議長の辞職・改選
- 藤田昇議員に対する問責決議を可決
- 全員協議会を開催
- 政治倫理審査会での審査を終了
- 子育て賃貸住宅等整備に向けた議案を審議



総務経済

◎専決処分の承認を求めることについて（市税率例の一部改正）

本案は、地方税法の改正に伴い、固定資産税及び都市計画税に係る規定の整備等について緊急を要したため、専決処分したものです。

（質疑は特にありませんでした）

◎三浦市地域優良賃貸住宅の設置、管理等に関する条例

◎事業契約の締結について

◎指定管理者の指定について（三件・子育て賃貸住宅、南下浦コミュニティセンター、図書館南下浦分館）

以上五件は、子育て賃貸住宅等整備事業に関わるもので、子育て賃貸住宅の設置、管理等について必要な事項を定めるとともに、P.F.I南下浦市民センター株式会社と事業契約を締結し、三施設

の指定管理者として指定するものです。



現在の南下浦市民センター

（質疑の主な項目）
・本賃貸住宅への入居の要件等について

・入居期間終了後に転居などをする際の支援等について

・本事業契約に係る契約金額の内訳と支払期間について

【質問】 子育て賃貸住宅の入居期間を最長十年とした理由をお聞きしたい。

【答弁】 三浦市に子育て世帯を呼び込むという施策に基づいて整備するものであり、定住の足掛かりになる施設と考えている。

【質問】 子育て賃貸住宅の家賃の設定について、考

え方をお聞きしたい。

【答弁】 比較的若年層の入居を想定しているため、金銭的な負担によって入居率が下がることがないようになりたい。また、近傍の家賃と均衡を失しないようにという法律の定めがあるので、これを踏まえて庁内で協議し、決定したい。

【質問】 指定管理者が施設を管理するメリットは何か。

【答弁】 この施設は子育て賃貸住宅、コミュニティセンター及び図書館の複合施設であり、一体的に管理・運営したほうが効率的・効果的である。また、民間のノウハウを取り入れることで、活気のある施設になると考えている。

【質問】 子育て世代包括支援事業において相談支援体制の充実を図るが、具体的な内容を伺いたい。

【答弁】 親子相談センター「ひなたぼっこ」に、直通電話やオンライン相談のためのパソコン、訪問を行うための公用車を整備する。相談体制の充実を図ることで、潜在的にいる相談を必要とする方への訪問が増加すると見込んでいる。

◎令和四年度三浦市一般会計補正予算（第一号）

本補正は、歳入歳出それぞれ一億三千六万七千円を追加し、総額を百七十九億四千九百七十四万七千円とするものです。

（質疑の主な項目）

・九月等に採用予定の三浦市職員採用試験を実施することになった要因について

・区長会が開催する、地域イベント助成金を活用した写真展について

・生活支援特別給付金の支給対象について



子ども課内にある親子相談センター

【質問】 子育て世代包括支援事業において相談支援体制の充実を図るが、具体的な内容を伺いたい。

【答弁】 親子相談センター「ひなたぼっこ」に、直通電話やオンライン相談のためのパソコン、訪問を行うための公用車を整備する。相談体制の充実を図ることで、潜在的にいる相談を必要とする方への訪問が増加すると見込んでいる。

都市民生

◎三浦市南下浦コミュニティセンター条例

◎三浦市公民館条例の一部を改正する条例

◎三浦市図書館設置条例の一部を改正する条例

以上三件は、子育て賃貸住宅等整備事業に関わるもので、南下浦市民センターに代わり、南下浦コミュニティセンターを設置し、また、図書館南下浦分館を整備するため、条例の整備等を行うものです。

（質疑の主な項目）

・コミュニティセンターの利用スペースの面積や駐車台数について

【質問】 コミュニティセンター内の各施設について、利用料金の設定をお聞きしたい。

【答弁】 多目的ホール等の各室は、現在の南下浦市民センターの同等の施設と同じ金額に設定した。駐車場は、センターの利

用者も含め三十分につき百円とする。

【質問】 コミュニティ形成を促進するために計画されているイベントなどはあるのか。

【答弁】 具体的な内容は今後決定していくが、公民館ではできなかった物品の販売、企業の学習の場とすること、有料コンサートが開催など利用の幅が広がると考える。

【質問】 新たに整備する図書館で予定している施設の内容を伺いたい。

【答弁】 静かに学習や読書等ができ、親子でリラックスして利用できる空間の設置を考えている。また、ベビーカーや車いすが通れるスペースを確保し、子供の手が届く書架を設置するため、書籍数は現在より少なくなる。



新たに提出された陳情

◎陳情書（女性トイレの維持及びその安心安全の確保について）

趣旨 本陳情は、女性の安心安全を守るため、事業所や大規模小売店舗等で、男性用と女性用に区別したトイレが維持されるように、国に申し入れることを求めています。

◎国民の祝日「海の日」を七月二十日に固定化する意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、現在、七月の第三月曜日とされている国民の祝日「海の日」を、制定趣旨等に鑑み、当初の七月二十日に固定化することについて、国に意見書を提出するよう求めています。

◎「対外的情報省」の設立の意見書を内閣官房長官に提出についての陳情書

趣旨 本陳情は、東アジアの情勢把握や国際状況の激変への対処ができるように、対外的情報省の設立について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情

趣旨 本陳情は、中国共産党による臓器収奪を非難し、種々の人権侵害を即時停止することについて、国に意見書を提出するよう求めています。

◎陳情書（財政推進室の設置について）

◎陳情書（災害対策室の設置について）

趣旨 これらの陳情は、部設置条例を改正し、財政推進室または災害対策室を設置するよう求めています。

◎消費税インボイス制度の実施延期を求める陳情

趣旨 本陳情は、中小企業・自営業者などに多大な負担を強いる、消費税のインボイス制度の実施を当面延期するよう、国に意見書を提出することを求めています。

◎陳情書（三浦市選挙管理委員会の業務に関する調査等について）

趣旨 本陳情は、三浦市選挙管理委員会の業務上の不作為を調査、是正するための特別委員会を設置するよう求めています。

◎教育ビジョンのためのアンケートの解析作業について教育委員会以外でも行うことを求める陳情書

趣旨 本陳情は、教育ビジョン見直しのための教員アンケートの分析が公正に行われるよう、外部の有識者など、教育委員会以外のメンバーにより解析作業を行うことを求めています。

◎教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める二〇二二年度政府予算についての陳情書

趣旨 本陳情は、子供たちの教育環境改善のために、中学校でも三十五人以下学級を早急に実施すること、教育に関する予算を拡充すること等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎消費税率インボイス制度の実施延期を求める陳情

趣旨 本陳情は、中小企業・自営業者などに多大な負担を強いる、消費税のインボイス制度の実施を当面延期するよう、国に意見書を提出することを求めています。



陳情の審査結果

6月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。

所管委員会	件名	結果
総務経済	陳情書（災害対策室の設置について）	審議未了
都市民生	教職員定数改善の推進および教育予算の拡充を求める2023年度政府予算についての陳情書	了承できるもの
	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	審議未了

本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】

- 第22号 専決処分の承認を求めることについて
- 第23号 三浦市地域優良賃貸住宅の設置、管理等に関する条例
- 第24号 三浦市南下浦コミュニティセンター条例
- 第25号 三浦市公民館条例の一部を改正する条例
- 第26号 三浦市図書館設置条例の一部を改正する条例
- 第27号 事業契約の締結について
- 第28号 指定管理者の指定について（三浦市子育て賃貸住宅）
- 第29号 指定管理者の指定について（三浦市南下浦コミュニティセンター）
- 第30号 指定管理者の指定について（三浦市図書館南下浦分館）
- 第31号 令和4年度三浦市一般会計補正予算（第1号）

【決議案】

- 第2号 藤田 昇議員に対する問責決議※

【意見書案】

- 第1号 計画的な教職員定数の改善と教育予算の拡充を求める意見書

※藤田昇議員 除斥、溝川幸二議員・鈴木敏史議員 退席

新型コロナウイルス感染症に対する 議会の対応

議会災害等対策本部活動報告

五月二十四日

◎六月定例会の運営方法等について協議した。

- ・委員会では市側説明員の出席者数の制限は行わない
- ・各派代表者会議等の開催場所はコロナ対策前（正副議長室）に戻す
- ・そのほかの感染症対策（本会議では間隔をあけて着席、傍聴者の人数制限、検温等）については前回と同様に行う
- ・行政視察（訪問・受入）については、実施することを基本とする

六月七日

◎六月定例会の運営方法等について再度協議した。

- ・全員協議会の傍聴は、ロビーと応接室で認める
- ・永年勤続議員への表彰状の伝達は、議場で行う

六月二十一日

◎次回定例会に向けて対応を協議した。

- ・引き続き災害等対策本部を設置し、九月定例会前に対応について協議をする

募集中!

みうら議会だよりへ
広告を掲載しませんか？
ぜひご検討ください。



詳しくは、議会
ウェブサイトへ!

請願書・陳情書の 提出方法

提出方法

- ◇市政についての要望などを、請願や陳情として議会に提出することができます。
- ◇請願は、紹介議員が必要です。
- ◇書式はA4・横書きで、次の例を参考にしてください。

（記載例）

〇〇についての請願（陳情）書

請願（陳情）の趣旨
請願（陳情）の理由

令和 年 月 日

三浦市議会議長 様

住所 〇〇〇〇

氏名 〇〇〇〇

（署名または記名押印）

- ◇定例会ごとに定めた提出期限までに受理したものは、その定例会で取り扱います。

- ◇提出者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。（前日までの申し出が必要です）

提出期限等は議会ウェブサイト「請願と陳情」のページをご覧ください



新副議長が就任

六月十日に、藤田昇議員から副議長辞職願が提出され、同日、本会議で辞職を許可しました。

その後、ただちに副議長選挙を行い、草間道治議長の指名により、小林直樹議員が副議長に就任しました。



役職等の変更

議会運営委員会の副委員長が交替しました。

●議会運営委員会

(7人)

委員長 神田 眞弓
副委員長 溝川 幸二
委員 蓮本 一朗

長島満理子
藤田 昇
小林 直樹
出口 眞琴

会派役員の交替がありました。

●公明・みうらクラブ

(3人)

代表 表 溝川 幸二
副代表 鈴木 敏史

藤田 昇



そのほか、議会だより編集委員会の委員が変わりました。名簿は最終ページに掲載のとおりです。

全員協議会を開催

全員協議会は、市の重要課題や議会運営等について協議または調整を行う必要がある場合に、議長が招集します。

六月定例会の期間中に全員協議会を三回開催しました。

この概要をお知らせします。

○開催日

六月十日、六月十四日、六月二十一日

○開催の理由

議長に申入書が提出され、この中で、地域で活動する市民グループが発行したマップに、協賛業者名として本市議会議員に関わりのある二事業者が掲載されていること、このことから二名の議員が協賛金を拠出したと類推できることが指摘されました。

○協議会の経過

六月十日の協議会では、二名の議員（蓮本一朗議員、千田征志議員）から、協賛金を支払った平成三十年当時から現在までの状況が説明され、これに対し、他の議員から質疑を行いました。

六月十四日の協議会では、二名の議員から協賛金支払いに対する領収証の写しなどが資料として提出されたため、これに基づいて質疑を行いました。六月二十一日の協議会では、他の議員から蓮本議員に対し、独自に入手した資料を基に質疑が行われました。これに対し、蓮本議員から回答に正確を期すための時間が求められたため、日を改めて再度、協議会を開催することにしました。

Check! 議会ウェブサイトのご案内

Q どんな議員が在籍しているの？

Q 市議会ではどんなことを話し合っているの？

Q 議会を傍聴してみたい！！

Q 過去の議会だよりは見れるかな？

A 三浦市議会ウェブサイトでは、議員名簿、会議録の閲覧・検索、定例会の日程や議案の審議結果、傍聴の案内など、議会に関する情報をご覧になれます。過去の議会だよりもぜひご覧ください。



三浦市議会
ウェブページから見てみよう！



一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずねることをいいます。第2回定例会では、12人の議員が市政運営について市側の考えをたずねました。



避難所情報ほか

入江地区排水機能、磯焼け対策

無所属 蓮本 一朗

質問 災害ごとに避難所が開設され、周知されるようになってきているが、避難所に指定された施設が満員になってしまう可能性と対策について伺う。

質問 初声町の入江、和田、赤羽根の各地区は、過去に何度も冠水の被害に見舞われているが、特に入江地区の冠水対策について伺う。

質問 小田原市や葉山町では漁業関係者が神奈川県水産技術センターと連携し、藻場の再生に取り組んでいるとのこと。藻場の保護について、三浦市の取り組みを伺う。

成二十九年九月以降、冠水被害は発生していない。

防災危機対策室長 防災

都市環境部長 初声町入

海業水産担当部長 三浦

関連の各計画では避難対策として民間施設等を含む避難施設の確保を掲げており、今後も避難所として活用できる施設の確保に努めていきたいと考えている。一部の避難所に避難者が集中して満員となる場合も想定されるが、避難所の開設状況や混雑状況を避難者がホームページ上で確認できるシステムを本年三月に導入しており、避難者が空いている避難所を自ら選択し避難することが可能となっている。

江地区に対して、県が平成九年度に、国道隣接の喫茶店協と日本料理店協の二か所にポンプ施設を設置して、排水機能の強化を図られた。その後初声小学校入口交差点改良工事の際、国道の側溝を改善し、さらに排水機能の向上を図られた。本市としては初声小学校グラウンド地下の雨水貯留施設から雨水を河川に強制排水する機能を追加し、令和二年度には付近の水路を整備して雨水排水機能を改善した。これらの効果もあり同地区では平

市においても漁協が主体となり、神奈川県水産技術センターや三浦市とも連携して、磯焼けの原因とされるアイゴやウニといった食害生物の駆除を実施し、藻場の再生に取り組んでいるところである。



磯焼けの原因：ウニ アイゴ



安心でできるまち

スポーツ振興・教育行政

自由民主党 千田 征志

質問 今年五月五日、三浦スポーツ公園の多目的グラウンドにて、ラクロス女子日本代表の世界大会出場に係る壮行会が開催されたが、本市との関りについて伺う。

の共催で「壮行会」を開催したものである。

市民部長 三浦スポーツ公園の多目的グラウンドは、近年、ラクロス女子日本代表を始め、複数の高校や大学のラクロス部に利用頂いている。

また、日本代表選手による「ラクロス体験会」をこれまで三回開催したことなどにより、少しずつ結びつきが強くなってきたものと認識している。その為、今年六月と七月にアメリカで開催される世界選手権大会への出場が決定したことを受け、輝かしい成績を収められる事を祈念し、指定管理者と株式会社サンシユウ

「クロス」と呼ばれるスリッパを持ってラクロス女子を見る光景が増え、これが思わぬ宣伝効果となった。

市民部長 最近では、「クロス」と呼ばれるスリッパを持ってラクロス女子を見る光景が増え、これが思わぬ宣伝効果となった。

これまでのイベントは、三浦スポーツ公園の指定管理者による自主事業として開催されていることから、指定管理者により、掲示物やチラシ配布を行うと共に、市からの情報発信として、報道機関への情報提供を行っている。

教育部長 旭小学校の五年生は、地産地消の大切さを広めようと始まった学習が、最終的には市内の弁当店とコラボし、「地産地消弁当」を企画、又、南下浦小学校六年生は、地域食材を使った「みくらめん」を作った。

教育部長 今年度重点校の上宮田小学校、剣崎小学校、南下浦中学校の三校については積極的に多様な校外学習等に取り組み予定である。

又、海洋教育写真コンテストや海洋教育の集い、海洋教育コンテツツの開発については引き続き行っていく。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

要望 丸三年が過ぎた新型コロナウイルス感染症の蔓延により、市内経済への影響も長期化している。さらにウクライナ情勢に不安も重なり、年内にはまだまだ商品の値上げが続くと報道されている。これからも継続した経済対策の実施が必要不可欠ではないかと思う。国からの交付金を活用し、市民生活を守る取組を実施していくよう願う。



城山地区と経済策

城山の活用と今後の市内経済

公明みうらクラブ 鈴木 敏史

質問 城山地区利活用の今後の展開について、事業者との間で進めている協議の内容を聞く。

可能となった後の、展開を聞く。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。



先行的活用候補の旧三浦市福祉会館

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

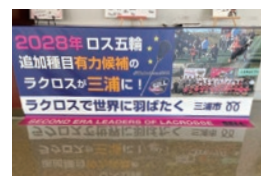
市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。



潮風アリーナに飾られたラクロス五輪の追加種目候補だとして知られる事祈念し、指定管理者と株式会社サンシユウ



旭小学校の児童作成三浦地産地消ガイドブック

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。

市長室長 観光庁が所管する、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業を活用した城山地区事業用地の先行的活用について検討を進めている。

市長室長 スモールラグジュアリーの実現を目指した、城山地区のブランドینگを進めていくと聞いている。旧三崎中学校のリノベーション、グランピングの実施など、さらなるブランドینگの方向性や事業化の検討を進めていると聞いている。



キエーロで減量

デジタル化と住民の福祉の増進

日本共産党 石橋 むつみ

質問 不法投棄や不適正処理のおそれありということでも無許可の廃棄物回収業者利用はしないでと市民へ注意する理由は？

アーとして三月に開催、コロナ感染防止のため十名に限定したが定員を超え応募があり好評だった。今年度も開催したい。

市長 従来資源化処理を行っているプラ製品、プラ容器包装と併せ製品、プラスチックを一括回収し、資源化処理を行う事についての検討を始める。

都市環境部長 トラブルをさける意味でも広報紙などで市民周知を図り、併せて粗大ごみなどの排出方法も知らせていく。

質問 ごみダイエット大作戦アクションプログラム

中、水分を燃せるごみにせざるに済むキエーロと、市民講座について経過と内容を伺う。

都市環境部長 キエーロモニター参加者は、今までの累計百二名。市民講座は、ごみ処理施設見学ツアー

ごみ処理施設見学ツアー



今年度のアクションプログラム

質問 グルメチケットとおもてなしクーポンとを比較しての総括は？

経済部長 一昨年のグルメチケットは市民の購入機会優先の制度設計、おもてなしクーポンは事業者目線の制度設計とした。

質問 電子クーポンにしたことで、スマホ限定は不公平との意見が数件あったという。デジタル機器が扱えない、使わない人もいる。自治体がデジタル化を進める場合、住民サービスを後退させてはならないと考える。「情報弱者への対策」について市長の考えを問う。

市長 自治体にとってデジタル化の推進は市民サービス向上と行政効率化を図る上で重要な施策。多くの市民がデジタル化のメリットを享受するには、情報をうまく活用できない方々への対策が大きな課題。情報発信などの他、引続き窓口での親切丁寧な対応を継続する。



商店街の活性化

三浦マラソンに関する民事訴訟

無所属 寺田 一樹

質問 最近三崎下町地区では、起業する方が続々と現れている。また、起業したくて物件を探している人もいようだ。その一方で、物件が無いといった話も聞く。行政では空き店舗の状況を把握しているのか。

経済部長 把握はしていない。三浦商工会議所が空き店舗調査を行い、現在取りまとめ中とのこと、結果を提供してもらうことになっている。

質問 これからの行政には、起業したい人と空き店舗をマッチングさせることも必要と考えるが、取りまとめ中の情報を基にマッチング事業を行うことはできないか。

経済部長 空き店舗に特化したマッチング制度はないが、創業相談時などに情報提供していきたい。



商店街街路灯

質問 商店街の街路灯は商店街において管理されているが、行政としてどう関わっているのか。

経済部長 電気料金に対する助成を行っている。

質問 街路灯は設置から約十年が経過し老朽化が進行していると思う。危険な街路灯を改修・撤去しやすくするための補助制度の創設が必要と考えるが、行政の考えを聞く。

経済部長 現在までに改修費用等に関する助成の要望は聞いてない。要望された段階でその必要性について検討していく。

質問 三浦国際市民マラソンにおける不正事案に関する民事訴訟の判決が確定したことについて、どう受け止めているか。

市長 市側の大部分の主張が認められたと認識している。一方で、今回の民事訴訟の結果は決して成果として評価できるものではない。現職の市の職員が長年にわたって悪質な行為を繰り返し、マラソンに関わる全ての方々に多大なご迷惑をおかけしたという事実が、かえって浮き彫りになったと厳粛に受け止めている。

質問 裁判では約三千万円の損害が認められたが、今後どうやって回収していくのか。

経済部長 市及び実行委員会の代理人弁護士と相手方の代理人弁護士との間で協議し、賠償に係る意思確認を行う。併せて、債権回収に向けた具体的手続きについて案を作成するなどし、関係部署との協議に取り掛かる。



海水浴場安全対策

子育て賃貸住宅等整備事業
自由民主党 長島 満理子

質問 三浦市を代表する三浦海岸海水浴場だが、

今年には開設されない事態となった。三浦海岸海水浴場が開設されないことについて、市長の所感を伺う。また、開設しないとしても、海岸には大勢の観光客が来訪され、治安や環境の悪化、水難事故の増加のおそれがあると考えますが、安全対策等について伺う。

な対策について検討している。

質問 三浦海岸は、十キロにわたる砂浜を年間通して利用できるように取組の強化が観光地として必要と考える。観光協会と協働し、観光協会の強みを生かした新たなアイデアや取組で、海岸利用の多様化、誘客を図ることができるとは思いませんか。

市長 年間を通じた海岸の活用が重要であると

市長 三浦海岸海水浴場が開設されないことは非常に残念なことであると捉えている。また、安全対策は必要不可欠であると考えている。海岸管理者である神奈川県に対し、注意看板の設置、警備員及びライフセーバーの配置の協力を求めているほか、三浦地区海水浴場対策協議会におけるパトロールの実施など、必要



ライフセーバーが設置された海岸

認識している。秋にウィンドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会の開催を予定している。誘客について、観光協会をはじめ、多くの関係団体と知恵を出し合い、効果的な取組にできるよう努めていく。

質問 子育て賃貸住宅等の施設供用開始後は、コミュニケーションが取りづらいと言われているからこそ、市民に愛されるコミュニケーションの場が必要と考える。改めて市長の考えを伺う。

市長 「三浦市への新しい人の流れをつくる」を基にした取組として、本施設に多くの人々が集い交流することで、今まで以上ににぎわいが創出され、周辺地域が活性化し、魅力あるエリアになることを望んでいる。市民及び利用者にとって親しみやすく、三浦市の中心的なコミュニケーション施設となるよう本事業を進めてまいりたい。



ヤングケアラー

送迎保育ステーション
公明みうらクラブ 溝川 幸二

質問 ヤングケアラーの存在を認識するため、実態調査を行う必要があると考えるが、いかがか。

保健福祉部長 現時点では実施予定はないが、関係機関との連携の中でその存在を把握できるように努める。

質問 ヤングケアラーの支援に関して、地方自治体に関係機関と民間支援団体等のパイプ役となるヤングケアラーコーディネーターの配置が望ましいと考えるが、いかがか。

保健福祉部長 現時点では考えてないが、今後、必要が生じ、配置を希望する意見があった場合には、検討すべきと考える。

質問 ヤングケアラーの認知度は低い。市として周知等を含めた今後の取組について伺う。

保健福祉部長 ヤングケ

アラ―当事者や事業者にも周知が行き届くよう、ホームページやチラシの作成により広く周知も行ってみたいと考えている。



大人の代わりに家事等をするヤングケアラー

送迎保育ステーションの設置について

質問 仕事と子育て両立支援策の方針の待機児童ゼロ作戦の取組の一つに設けられた「送迎保育ステーション」であるが、駅前等の利便性の高い場所にこの施設を設置し、朝、保護者が送迎保育ステーションまで園児を連れていく。園児たちは専用のバスで通園する保育施設へ送られ、保育時間

終了後、専用バスで送迎保育ステーションに戻り、保護者が迎えに来るまでを過ごす。そして、保護者が迎えに来て帰宅。こういった一時預かり所機能も含めた送迎保育ステーションを設置すれば、子育て世代を呼び込む一つの手段になると考えるが、いかがか。

市長 送迎保育ステーションについては、保護者のニーズに 대응することができるサービスであると認識している。現在、三浦市は、待機児童ゼロの状況が続いているが、保留児童は存在している。保育所等が必要とする人が利用できない状況があるということは否めない状況である。送迎保育ステーションの設置に係る具体的な検討はされてないが、保留児童対策を含め、子育て世代にとって必要なサービスや社会資源は何かを検討することが必要であると考えている。



市役所の移転後

教育ビジョン、介護保険計画

日本共産党 小林 直樹

市役所移転後の施設

質問 城山地区の土地利用に伴い、令和八年四月に市役所を引橋地区に移転する予定である。

市役所の移転について、市民へのアンケートを実施するのかわかっていますか？

市長室長 様々な手法を検討し、市民の皆様の声を聞いていきたい。

質問 市役所が移転した後は、出張所とコミュニティ機能を持った「市民センター」みたいな施設を三崎地区にも設置するのかわかっていますか？

市長 施設の規模、機能を含めて今後、検討していく。

要望 三崎地区の住民は、市役所が移転した後、どのような機能を持った施設ができるのか関心と不安がある。早急に検討すること。



三浦市役所 本館

学校教育ビジョン

質問 主な内容は、市内の八小学校を五校廃校にして三校にしてしまう「一中学校区一小学校」、そして、小学校と中学校が離れている「小中一貫教育」の二つである。しかし、主な内容の二つを見直すことになった。

保護者に続いて、地域住民へのアンケートを行う予定だが、いつごろ実施するのかわかっていますか？

教育部長 保護者向けアンケートの集計作業とも並行しながら、早期に進めたい。



三浦市立名向小学校

介護保険事業計画

質問 地域包括支援センターは、高齢者や家族の総合相談、ケアマネジメント支援等を業務とし、地域包括ケアシステム構想の中核となっている。日常生活圏域である三崎、南下浦、初声の三ヶ所に設けることが目安だと言われているが、現在、二ヶ所しかない。三ヶ所必要だが、どのように考えているのかわかっていますか？

保健福祉部長 これまで関わってきた高齢者との関係性など、混乱のないよう諸事情を良く聴取しながら検討していく。

要望 よりきめ細やかな支援やケアをすることができるので、三ヶ所設置すべきである。



防災対策について

傾斜計の実証実験

自由民主党 出口 正雄

質問

三浦市内の土砂災害警戒区域に民間企業が崖地の異変を素早く察知する傾斜計を設置し、異常時に報告するシステムの構築を目指す実証実験を開始した。実証実験は十一月頃まで行われるが、検証の結果、有効性が認められた場合、本格的に設置を開始する時期をいつ頃と捉えているのかわかっていますか？

防災危機対策室長 本市には災害により崩壊する危険性のある崖が多く存在するため、この実証実験に期待をしている。本格設置は結果を踏まえて検討していく。

市長 実験中の方式がどのような場合に有効かなど結果を得なければならぬこともあるが、有効性が確認できれば導入の検討を急がなければならぬのはお話のとおりである。

ある。今は実証実験の最中であり、明確なビジョンを答える段階でないことをご理解いただきたい。

地震対策

質問 三浦市では過去に災害用指定井戸を飲料水や生活用水などに近隣住民が活用できるように水質検査を実施していたと記憶している。百トン水槽の設置など飲料水の確保は進んでいるが、トイレの多くが水洗になり、生活用水としての価値は十分あると思う。現状の指定状況と維持管理について聞く。

防災危機対策室長 昭和五十三年の伊豆大島近海地震を契機に、飲料水の確保を目的として二百四十五か所を防災指定井戸として指定した。現在は飲料水兼用耐震性貯水槽の整備等により飲料水対策が整ってきたことや硝酸性窒素が検出された井戸が多く、飲料水には適さないことから新たな指定は行っていない。井戸の維持管理については所有者により行われていると承知している。

市長 水は生きていく上で必要不可欠な存在であるが、市内の井戸の水質は全般的に飲料水としては厳しいと聞いている。ただし、非常時には生活用水として利用できる可能性があることは指摘のとおりである。担当でも、防災訓練などに災害時の井戸の使用に関する問合せがあった際は、飲料以外の生活用水として活用することは差し支えない旨を伝えたい。



市内にある井戸

豪雨災害対策



マイナポイント第二弾について

公明・みうらクラブ 藤田 昇

質問 豪雨災害対策について。毎年のように豪雨災害による水害や土砂災害が発生している。そこで、豪雨災害から市民の命を守るための取組について、どのように行っていくのか、市長のお考えを伺う。

市長 豪雨災害から身を守る取組は、市民の皆さんに自らの命は自らが守る、そういった意識を持って避難行動を取ってもらうことが重要である。行政はそれを全力で支援連携していくことを考えている。今後も、避難情報の適切なタイミングでの発令に努めるとともに、地域の防災活動の中心となるリーダーの育成、防災訓練の継続的な実施等により、市民の皆さんの防災意識向上に努めていくことを考えている。

質問 市民サービス向上について。マイナポイント第二弾についての窓口等の対応について六月三十日からマイナンバーカードを健康保険証として利用する申込みや公金受取口座を登録した場合にそれぞれ七千五百円分のポイントが付与されること等から、カードやポイントの追加申請が始まる六月末より市民サービス課の窓口対応が急増することが予測されるがどのように対応するのか伺う。

市民部長 議員のおっしゃるとおり、電話による照会や窓口での申請などが増加することが見込まれている。令和三年度からマイナンバーカード専任の会計年度任用職員を二名雇用しており、正規職員と協力を図ることで申請などの増加には対応

が可能と考えている。今後もしっかりやすい説明を心がけて、親切丁寧に対応していく。

質問 市民への周知について。マイナンバーカードの保険証としての利用や公金受取口座の登録は市民サービス向上に寄与するものであり、また、カードの交付率を上げるよい機会だと考えるが、どのように周知、拡大をしていくのか伺う。

市民部長 窓口でのパンフレットの配架や市ホームページの情報掲載のほか、六月からは市役所本館一階のデジタルサイネージを利用してPR動画を流して周知を図っている。今後も、マイナンバーカードの取得についての啓発を続けていく。



あつたかいまち



子供を産み育てたくなるまち

自由民主党 神田 眞弓

質問 学校教育ビジョンアンケート結果は、学校別の傾向などを細かく集計するのか。また、分析は、教育委員会だけでなく、それぞれの地域協議会や庁内検討会議の意見等を聞いて行うのか。

教育部長 教育委員会の視点だけでなく、庁内他部署の視点、保護者や地域の方の視点も必要である。集計結果から読み取れることをまとめ、総合教育会議や地域協議会に報告し、意見を頂く。

質問 親子相談センター「ひなたぼっこ」子育て中のご家庭や子供さん自身からも相談が寄せられ、相談する立場に寄り添うことが最も重要である。お子さんの病気や障害などに常に悩んでいる子育て中の家庭や家族に寄り添うことができるよう、一層の支援体制の充実が求められる。

市長 子育て世帯への支援については児童相談所、警察、学校や保育所等の連携はもとより、地域全体がつながり支えていく

質問 集計結果で特定の学区の統廃合希望が多かった場合は段階的統廃合も考えられる。不安解消には早期の対応も重要ではないか。

市長 所有者不明土地の不動産登記法や民法の改正により、土地所有者探しに要していた時間が短縮され、周辺の住環境の改善が期待される。今後の取組を伺う。

市長 所有者不明土地の解消に向けた民事基本法の見直し内容の情報提供を行い、所有者としての責任を意識していただき、適切な空き家管理を促していきたい。



親子相談センター「ひなたぼっこ」

体制が必要である。「ひなたぼっこ」が、地域づくりを支える拠点として機能し、家庭が困難に直面したときに子供に関する様々な支援を一つの窓口で受ける環境を整える。今後も子育て世代にとって「あつたかいまち」を目指し、取り組む。

環境政策について



観光振興・移住促進・有害鳥獣

自由民主党 出口 眞琴

質問 地域再エネ導入戦略構想の策定と公共施設太陽光発電設備等導入可能性に関わる調査について伺う。

都市環境部長 令和四年度に実施する地域再エネ導入戦略構想と公共施設太陽光発電設備等導入可能性に係る調査の成果を基本とし、令和五年度以降に不足部分の検討を加えた上で地球温暖化対策実行計画区域施策編を策定する。



宮川公園風力発電

質問 三浦縦貫道林入口交差点から高円坊方面へのアクセスを利用した回遊性の向上について伺う。

制にどのように取り組んでいくのか伺う。

市長 子育て賃貸住宅の整備などは民間事業者と連携して行っている。社会

経済部長 三浦縦貫道路が高円坊入口まで延伸されたことにより三崎方面に向かう東海岸ルートへのアクセスが向上したので、活用することで渋滞を避けることができる。

質問 移住定住促進事業の取り組みを伺う。

政策部長 神奈川県が主催の他市町と合同の移住セミナーに二回参加するほか市単独のセミナーが一回、計三回の開催を予定している。

質問 サテライトオフィスの整備支援の状況について伺う。

政策部長 デジタル田園都市国家構想推進交付金を申請し、交付対象とはならなかった状況である。同様の事業が実施された場合は、取り組んでいきたいと考えている。

質問 今後、人口減少抑

質問 地球温暖化対策に臨む市長の気持ちを伺う。

市長 第一次産業を基幹産業とする三浦市にとって生産の場である自然環境を守るため、また、豊かな自然環境を目当てに多くのお客様が来訪する三浦市として今ある自然環境を守るために、地球温暖化対策に取り組んでいく。

質問 有害鳥獣被害が増加傾向にあるが今後の被害対策について伺う。

経済部長 計画的防除として捕獲おりを設置し、駆除に当たっている。神奈川県猟友会三崎支部から空気銃による駆除を目的とした申請があり、許可

している。

可決した意見書（概要）

計画的な教職員定数の改善と教育予算の拡充を求める意見書

改正義務教育標準法が成立し、小学校においては全ての学年で段階的に35人以下学級となることが明文化された。これは確実に実現させる必要があり、教職員の人材不足や教育予算不足等の要因で計画が遅滞することがあってはならない。また、少人数学級が望まれる状況は中学校にあっても同様であり、早急に実施することが重要である。

よって、国においては、義務教育費国庫負担制度の堅持による財源保障をするとともに、令和5年度予算編成において、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 子供たちの教育環境改善のため、小学校同様、中学校においても35人以下学級を早急に実施すること。
- 2 改正義務教育標準法の計画どおり、小学校における学級編制の標準の引下げを着実に実施すること。
- 3 学校施設整備費、教材費、図書費、旅費、学校・通学路の安全対策など教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

〈提出先〉 内閣総理大臣／総務大臣／財務大臣／文部科学大臣

9月定例会日程案



令和4年第3回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
8月 31日	水	招集告示
9月 2日	金	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
7日	水	本会議（一般質問）
8日	木	本会議（一般質問）
9日	金	本会議（一般質問）
12日	月	総務経済常任委員会
13日	火	都市民生常任委員会
15日	木	決算審査特別委員会
16日	金	
20日	火	
21日	水	
22日	木	
28日	水	本会議（委員長報告・採決）

お家でも議会が見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像や過去の映像をYouTubeで配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

議会インターネット中継はこちらから➡



三浦市議会 議会中継 🔍 検索

※過去の映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでご覧いただけません。

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は9月1日（木）です。

表紙写真の紹介

議長の草間です。

今回の写真は、二町谷埋立地水産関連施設事業

用地に、令和五年四月に

開校予定の、魚のことを

専門的に学ぶ「日本さかな

専門学校」（令和四年

七月八日時点、認可手続

中）の完成イメージ図

です。

二町谷埋立地水産関連

施設事業用地について

は、現況図のとおり九社

が十区画に進出し、令和

四年二月に全ての活用が

決まっています。

日本さかな専門学校を

運営する学校法人水野学

園は、昨年八月に本市と

三十年間の事

業用定期借地

権設定契約を

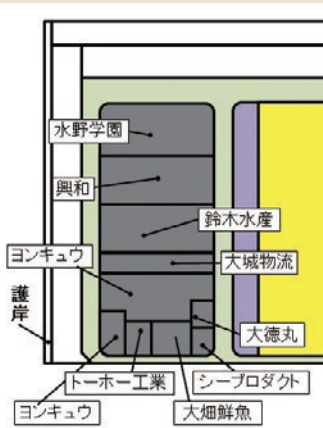
締結していま

す。

日本さかな

専門学校は、

漁業、調理と



二町谷埋立地現況図

食品学、観光・レジャー、環境の四つの分野を総合した「さかな学」を学ぶ、日本で初めての専門学校で、次の二つの学科を設置する予定です。

- ・海洋生物学科（三年制）
- …さかなのスペシャリストになるために、漁業、食、レジャー、環境など「さかな学」のすべてを修得。
- ・海洋生物研究学科（四年制）…養殖業、レジャー産業といった分野をさらに深く研究する。さかな産業の未来を担う人材を目指す。

議会としても、本市「海業」発展のための新たな人材育成に期待します。

三浦市議会議員 政治倫理審査会 審査報告

市民からの調査請求書提出により令和三年六月十四日に設置された審査会は、令和四年六月二日に審査を終えましたので、結果の概要を公表します。

【審査結果報告書】

一・審査対象議員

藤田 昇議員

二・付託事案

①令和三年三月十日都市厚生常任委員会での陳情審査の際における言動について

②三崎小学校Tシャツ及び東日本大震災義援シャツ（ポロシャツ）の受注について

三・審査結果

三浦市議会議員政治倫理条例第四条第一号に違反する行為があったと認められる。

（理由）

・令和三年三月十日都市厚生常任委員会での陳

情審査の際に、陳情者

として出席していた調

査請求者に対し、恐怖

心を与え、当市議会

に対し陳情することを

抑制するような威圧的

な発言を行ったこと、

また、陳情者の誤解を

解くために行ったと当

該議員が主張する発言

は、実際は当該議員の

調査不足及び誤解のも

とに行われたものだった

ことについては、市民

全体の代表者としての

品位を損ねるもので

あった。

・三崎小学校Tシャツ及

び東日本大震災義援

シャツ（ポロシャツ）

の受注については、発

注者側と当該議員との

間に何らかのつながり

があるという疑惑を市

民から持たれた。

四・審査の経過

令和三年六月十八日、

二十五日、七月二日、

十四日、十五日、二十

日、九月十五日、十月七

日、十一月十六日、令和

四年一月二十四日、二月

十日、二月十七日、四

月十二日、五月十日、

二十四日、六月二日

（審査の概要は別紙のと

おり）

五・必要と認める措置

藤田 昇議員に対する

問責決議

三浦市議会議員 政治倫理審査会

委員長 出口 眞琴

副委員長 溝川 幸二

委員 寺田 一樹

鈴木 敏史

長島満理子

小林 直樹

神田 眞弓

【別紙・抜粋】

第一回から第十三回までの審査概要は過去のみうら市議会だよりに掲載しましたので、第十四回以降の審査概要を掲載します。

第十四回（五月十日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

当該議員に三浦市議会議員政治倫理条例に定める政治倫理基準への違反行為があったと認められるか、各委員が自身の考えを述べました。

第十五回（五月二十四日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

採決を行い、当該議員に政治倫理基準に違反する行為があったと認められることを決定しました。

○必要な措置について

当該議員に必要なと考えられる措置について各委員から意見を述べました。その後、採決を行い、当該議員に対する問責決議を議長に勧告すること

第十六回（六月二日）

○審査結果報告書について

審査会から議長に提出する審査結果報告書の内容を決定し、すべての審査を終了しました。



出口眞琴委員長から草間道治議長に報告書を提出



藤田 昇議員に報告書の写しを送付



◎審査結果報告書の全文や審査会の会議録、政治倫理条例などは、三浦市議会ウェブサイトからご覧になれます。

藤田 昇議員に対する問責決議

我々、三浦市議会議員は、「市民に開かれた、市民のための議会」を目指し不断の努力を重ねるとともに、市民の代表者として高い倫理性が求められていることを深く自覚し、人格及び倫理の向上に努め、行動することが求められている。

このたび、藤田 昇議員においては、三浦市議会議員政治倫理条例に基づく調査請求書が市民から提出され、政治倫理審査会で審査の結果、令和3年3月10日開催の都市厚生常任委員会における陳情審査の際、出席した陳情者に恐怖心を与え、陳情を抑制するような威圧的な発言や、調査不足や誤解の下に発言を行ったことについては、市民全体の代表者としての品位を損ねるものとして、また、自身が代表を務める洋品店での商品の受注については、発注者との関係性に市民から疑惑が持たれたものとして、同条例に定める政治倫理基準に違反する行為があったことが認められた。

今回の藤田 昇議員の行為は、三浦市議会の信用を失墜させ、品位を傷つける、断じて許されないものである。

よって、藤田 昇議員に対し、この責任を強く問うとともに、猛省を促し、市民の代表としての責務と高い倫理観を深く認識することを求めるものである。

以上、決議する。

令和4年6月10日 三浦市議会

「藤田 昇議員に対する問責決議」についての議長コメント

本日、藤田 昇議員に対する問責決議案が提出され、本会議では退席者があったものの全会一致で可決いたしました。

この決議は、決議文中でも述べているとおり、藤田議員が委員会の席上、出席した陳情者に恐怖心を与えるような言動をしたこと等について、政治倫理審査会で審査を行った結果、政治倫理基準に違反する行為が認められ、問責決議が必要であると結論づけられたことに基づくものです。

藤田議員はもとより、私たち三浦市議会議員は、多くの方にご迷惑をかけ、ご心配を頂いた今回の事案を本市議会全体の問題として重く受け止め、二度とこのようなことが起こらないようにしなければなりません。議員一人一人が市民の代表者として高い倫理性が求められていることを深く自覚し、人格及び倫理の向上、そして一日も早い信頼回復ができるように誠心誠意努めてまいります。

また、藤田議員に対しましては、約1年に及ぶ政治倫理審査会の中で、各委員から今後の対応や自らの姿勢を正すことなどを求める意見が述べられております。藤田議員がその意見の一つ一つを真摯に受け止め、誠実に行動されることを期待いたします。

市民の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月10日 三浦市議会議長 草間 道治

議員表彰

五月二十五日開催の第九十八回全国市議会議長会定期総会で、次の議員が永年勤続者として表彰されました。

また、定例会初日には、議場にて議長から表彰状の伝達が行われました。

議員在職十五年

草間 道治 議員
神田 眞弓 議員
出口 眞琴 議員



議員に代表者による表彰状を伝達する



議長から表彰状を伝達する議員

子育て賃貸住宅等整備事業

解説

◆施設の概要

六月定例会で関係する議案八件が審議された「子育て賃貸住宅等整備事業」の概要と、これまでの経緯を解説します。

◆事業の概要

委員会での議案の審査概要は二ページを、本会議での審議結果は四ページをご覧ください。

◆今後の予定

令和四年十一月から現南下浦市民センターを解体し、令和五年三月から令和六年五月の間に新しい施設の建設工事を行い、令和六年六月に施設供用開始（入居開始）となる予定です。



◆これまでの経過

事業手法として※PF1方式を採用し、令和元年度に事業者選定に向けた実施方針案を公表。令和二年度に事業者を募集し、優先交渉権者が決定しました。令和四年度に事業契約を締結しました。

※PF1方式

民間のノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設・維持管理等を行う公共事業の方式

◆今後の予定

議会では、本会議の一般質問や総務経済常任委員会などで、事業の進捗状況や子育て賃貸住宅の入居条件、「コミュニティ」の活性化、地元企業の参画、地域への配慮など、様々な視点から議論をしてきました。今後も本事業の取り組みを注視していきます。



編集委員コラム

副委員長

小林 直樹

先日、小網代の森で「ホテル観察会」を行いました。小網代の森の保全が決まり一般開放されてから、早いもので八年が経ちました。かつては、「夏の満月の夜にアカテガニが産卵する（正確には、大潮の頃の夜に放仔）」と言って「アカテガニの産卵観察会」を行いました。

この時期は、干潟でチゴガニが両手を挙げてダンスをする姿を見ることが出来ます。

議会だより

編集委員会

委員長 草間 道治
副委員長 小林 直樹
委員 蓮本 一朗
溝川 幸二
石橋むつみ
出口 正雄